

確定申告書の記載手順

- 「確定申告書」は、「申告書B第一表、第二表」及び「申告書第三表（分離課税用）」の申告書用紙を使用します。ここでは、【事例1】（4ページから11ページ）に基づいて作成した「申告書B第一表、第二表」及び「申告書第三表（分離課税用）」を示して、申告書の記載手順を説明します。
 - 記載手順は、矢印と番号①から⑦で記載箇所ごとに表示しています。各記載箇所の記載方法の詳細は、各【事例】をご覧ください。
- なお、「確定申告書」の作成に先立って、「株式等に係る譲渡所得等の金額の計算明細書」などの各種明細書（国税庁ホームページ【www.nta.go.jp】からダウンロードできます。なお、税務署にも用意してあります。）を作成します。

（記載した部分は、便宜上、青色で印刷しています。）

申告書B第二表

申告書B第一表

7 年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

FA0077

FA0123

平成29年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

住所 A市××町1-23-9

氏名 国税 一郎

会社員

3 35 01 12

収入金額等

所得金額

所得から差し引かれる金額

復興特別所得税額④欄の記入をお忘れなく!!

復興特別所得税額④欄の記入をお忘れなく!!

復興特別所得税額④欄の記入をお忘れなく!!

記載手順

- ① 「株式等に係る譲渡所得等の金額の計算明細書」等を作成します。(4～5、12～13、18～19、24～25、30～34ページ参照)
- ② 第一表の収入金額等と所得金額の箇所を書きます。(6、14、20、26ページ参照)
- ③ 第二表を作成します。第二表は、②及び④の記載と併せて作成します。(第二表の記載例は、7、21、27ページを参照してください。)
- ④ 第一表の所得から差し引かれる金額の箇所を書きます。(8ページ参照)
- ⑤ 第三表の分離課税の収入金額や所得金額などの箇所を書きます。(9、15、22、28ページ参照)
- ⑥ 第三表の税金の計算、その他の箇所を書きます。(10、16、23、29ページ参照)
- ⑦ 第一表の税金の計算、その他の箇所の箇所を書きます。(11、17、23、29ページ参照)

申告書記載に当たってのお願い

記載に当たっては、次の点についてのご協力をお願いいたします。

- 1 申告書等は、黒いインクのボールペンで書いてください。
なお、申告書は複写式となっていますが、2枚目(控用)は取り外して使用しても差し支えありません。
- 2 フリガナは、濁点「・」半濁点「゜」は一字分とし、姓と名の間は一字空けてください。
- 3 マス目が設けられている記載欄に数字を記入する際には、右の記載例にならってマス目の中に丁寧に書いてください。
【記載例】
縦線1本 すきまを開ける 上に突き抜ける 角をつくる
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 閉じる
【記載例】 (金額が1,234,500,000円の場合)
1 2 3 4 5 0 0 0 0 0
【記載例】
配 当 金 1 2 3 0 0 0 0
給 与 金 2 3 0 0 0 0 0
- 4 記入事項を訂正する場合には、二重線で抹消し、その上の欄などの余白に適宜書いてください。

株式等に係る譲渡所得等の金額の計算明細書

平成29年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書(分離課税用)

FA0036

住所 A市××町1-23-9

氏名 国税 一郎

収入金額

所得金額

税金の計算

その他の

第三表(平成二十八年分以降適用)第三表は、申告書Bの第一表・第二表と一緒に提出してください。